

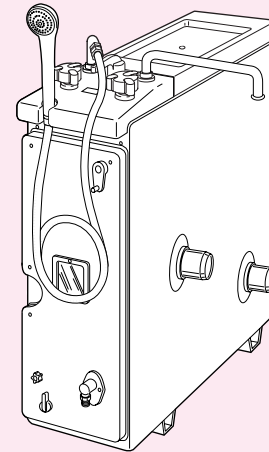
# 給湯・シャワー付 ガスBFふろがま

<BL認定品> 531-N900/N901型

531-N910/N911型

<非BL認定品> 531-N906/N907型

型式名 GBSQ-806-e  
GBSQ-606-e  
GBSQ-605-e



(531-N900型)

## もくじ

必ずお守りください(安全上の注意) ……	2
各部のなまえとはたらき ……	9
初めてお使いになるときは ……	10
使いかた	
たね火を点火する ……	11
お湯を出す/お湯の温度を調節する ……	12
おふろの追いだきをする ……	14
ご使用後は(たね火の消火) ……	15
台所などでお湯を使う(給湯配管してある場合) ……	16
凍結による破損を予防する ……	17
日常の点検・お手入れのしかた ……	18
故障・異常かな?と思ったら ……	20
アフターサービスについて ……	22
主な仕様 ……	23
保証書 ……	裏表紙

## 取扱説明書 保証書付

### 大阪ガス

このたびは大阪ガスの給湯・シャワー付ガスBFふろがまをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ・この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ・保証書の内容もよくお読みいただき、保証期間・保証内容などを確かめてください。
- ・この取扱説明書(保証書付)はいつでもご覧になれるところに保管してください。

SBA8076







\*SBA8076 T\*


# 必ずお守りください(安全上の注意)-1

お使いになる方や他の方々への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。  
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

## ■ 危害・損害の程度による内容の区分

	<b>危険</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が切迫して生じることが想定される内容です。
	<b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容です。
	<b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
	<b>お願い</b>	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

## ⚠️ 危険

-  **必ずおこなう**
1. すぐに使用をやめる
  2. ガス栓を閉める
  3. 窓や戸を開ける
  4. 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する



火気禁止

ガス漏れ時は、絶対に

- ・火をつけない
- ・電気器具のスイッチの入・切をしない
- ・電源プラグの抜き差しをしない
- ・周辺の電話も使用しない

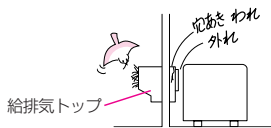
火や火花で引火し、火災の原因になります。



禁止

給排気トップが外れたり、穴があいたり、つまった状態で使用しない

気づいたときは、ただちに使用を中止し、販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因になります。



## ⚠️ 警告



高温注意

入浴前には、充分お湯をかきまぜる

お風呂の追いだき中や追いだき後は、浴槽のお湯の温度が上部と下部では、相当の温度差があります。やけど予防のため。



(つづき)



高温注意

シャワーなどお湯を使用するときは、手でお湯の温度を確かめてから使用する



やけど予防のため。

入浴時は、浴槽の湯温を手で確認してから入浴する



やけど予防のため。

シャワーなどお湯使用中に、トイレの水を流すなど大量の水を使用すると、水道の水圧が下がり、熱湯が出る場合があるので注意する

【シャワーのお湯が止まったとき】再使用するため出湯管からお湯を出すと、熱いお湯が出るので注意する (P20)

使用中や使用直後は、機器本体の金属部や出湯管が熱くなるのでさわらない

追いだき時は、循環口付近があつくになるので手や体を近づけない



やけど予防のため。

長時間の追いだきや長時間たね火を点火した後にお湯を使うと、熱いお湯が出る場合があるので注意する

お湯が体にあたらないよう充分に注意してください。やけど予防のため。

以下の場合にも熱いお湯が出る場合があるので注意する

- ・お湯をいったん止めて再度使用する場合
- ・高温のお湯を使った直後
- ・湯量を急に少なくした場合
- ・夏場など水温の高いときにお湯を少しだけ使おうとした場合

やけど予防のため。



必ずおこなう

地震、火災などの緊急の場合は、次の手順に従う

1. 器具栓つまみを「0」にする
2. ガス栓を閉める



3. 【給湯配管している場合】給水元栓を閉める



点火しない場合または、使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた場合や、使用中で消火する場合は、ただちに使用を中止しガス栓を閉める

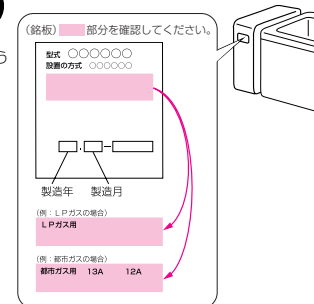
使用中に異常があった場合は、「故障・異常かな?と思ったら」(P20)にしたがい処置をする

上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止し、販売店に連絡する



必ずおこなう

必ず銘板に表示のガスで使用する



表示のガス種が一致しないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。

特に転居した場合は、必ずガスの種類が一致しているかどうか確認してください。わからない場合は、お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスに連絡してください。

(つづく)

(つづく)

# 必ずお守りください(安全上の注意)-2

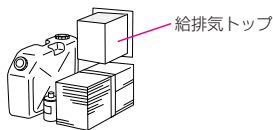
(つづき)

## 警告



燃えやすい物をまわりに置かない  
(洗濯物、新聞紙、灯油など)

禁止

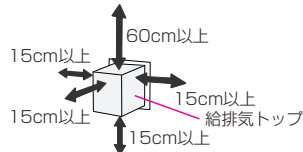


火災の原因になります。



燃えやすい物とは離す  
(樹木、木材、箱など)

必ず  
おこなう

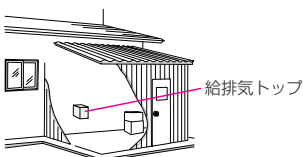


火災予防のため。



増改築などで屋内状態にしない  
(波板囲いなどをしない)

禁止



一酸化炭素中毒・火災の原因になります。



強化ガスホースの破損・加工をしない

禁止

無理に曲げたり、ねじったり、  
機器の下に通したりしない

強化ガスホースがひび割れたり差し込み口がゆるくなった場合は、販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する

ガス漏れの原因になります。



お客様ご自身では絶対に分解したり、修理・改造はおこなわない

分解禁止

異常作動してけがの原因となります。



機器から水漏れはないか注意する

必ず

おこなう

お隣や階下にも多大な迷惑をかけます。



お出かけやおやすみ時は、必ず消火し、ガス栓を閉める

必ず

おこなう

火災の原因になります。



つまみはマークに合わせて使用する

必ず

おこなう

各つまみはマーク以外の位置で使用すると、水圧の変化によって熱いお湯が出る場合があります。また、異常着火して大きな音がしたり、機器が変形することがあります。変形による隙間ができたときは、使用をやめ修理を依頼してください。そのまま使用すると排気が漏れて一酸化炭素中毒の原因になります。



屋外に設置しない

禁止

雨水が浸入したり、炎が風にあおられたりして、故障や火災の原因になります。



ガス配管接続工事には専門の資格、技術が必要なため、機器の設置・移動および付帯工事は、販売店または、もよりの大阪ガスに依頼する

必ず

おこなう

安全に使用していただくため。



機器本体やガスの接続口、給排気トップなどに乗らない

禁止

けがや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

(つづき)



必ず  
おこなう

排水口はこまめに掃除する



排水口がつかると、機器内に水が入って点火の際に炎があふれ、機器の焼損や火災の原因になります。



灯油、ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器のまわりで使用しない

禁止

火災の原因になります。



外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時などに給排気トップが養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない

禁止

不完全燃焼や一酸化炭素中毒、爆発着火の原因になります。



子供を浴室内で遊ばせない  
子供だけで入浴させない

禁止

思わぬ事故を予防するため。



循環口近くでお湯の中にもぐらない

禁止

運転中に体の一部や髪の毛などが吸い込まれて、おぼれたり、けがをするおそれがあります。



太陽熱温水器とは絶対に接続しない

禁止

お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因になります。



使用中に湯温調節つまみ・能力切替つまみはさわらない

禁止

思わぬ事故の原因になります。特に小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。



スプレー缶やカセットこんろ用ボンベを、機器本体や給排気トップのまわりに置かない、使用しない

禁止

熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。



高温注意

お風呂を沸かしすぎたときは、浴槽のお湯が沸騰して蒸気が噴き出すことがあるので、浴室へ入るときや浴槽のふたを開けるときは注意する

やけど予防のため。



お風呂を沸かしすぎたときは、浴槽のお湯が熱い間は絶対にお湯に手や体を入れない

禁止

やけど予防のため。

(つづく)

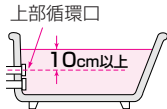
# 必ずお守りください(安全上の注意)-3

## ⚠️注意



必ず  
おこなう

おふろを追いださすときは、上部循環口より10cm以上、お湯(水)が入っているか確認する



空だきによる火災の原因になります。



必ず  
おこなう

本火着火しないとき、

1. 操作をやめてつまみを「0」に戻す
2. 約5分待ってから再操作する  
(機器内にガスが残っている場合があるため)
3. 再操作しても着火しないときは、販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する

異常な着火を予防するため。



必ず  
おこなう

たね火が点火しないとき、または途中で消火したときは、5分以上待ってから再点火する

機器内に残ったガスによる点火時の爆発を予防するため。



禁止

点火確認窓を外したまま点火操作をしない

一酸化炭素中毒の原因になります。



禁止

ホースを接続しての給湯使用禁止

出湯管の先にホースなどを接続してお湯を使用しないでください。また、給湯配管して給湯栓をつけないでください。お湯が絞られて熱湯が出たり、給湯栓を開けても燃焼し続けるなど、やけどの原因になります。



禁止

給湯、シャワー、おふろを沸かす以外の用途には使用しない

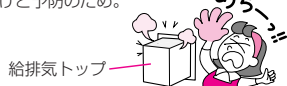
思わぬ事故を予防するため。



接触禁止

使用中や使用後しばらくは、機器と給排気トップ付近に触れない

やけど予防のため。



禁止

給排気トップに指や棒を入れない

故障やけがの原因となります。



高温注意

入浴するときやけどに注意

浴槽のふたは蒸気でやわらかくなることがあります。ふたの上に乗ったり、手をついたりしないでください。

おぼれたり、やけどの原因となることがあります。子供のいるご家庭では特に注意してください。



必ず  
おこなう

燃焼中は、排気ガスが室内に入らないように窓を閉める

一酸化炭素中毒の原因になります。



禁止

機器を使用中(燃焼中)は、ガス栓での消火はしない

爆発点火のおそれがあります。



必ず  
おこなう

乾電池に関する注意(お願い)

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。もしお客さまで旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。



必ず  
おこなう

積雪時には給排気トップの点検、除雪をする

雪により給排気トップがふさがれると不完全燃焼し、機器の故障の原因になります。

## 🙏お願い

浴槽の循環口をタオルなどでふさがない  
穴に物を詰めない



おふろの追いだきできません。  
機器の故障の原因になります。

機器に法定のラベルが貼付されていることを確認する

「特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律」の対象であり、法定資格を有する者以外、設置・移設できません。

硫黄(イオウ)を含んだ入浴剤は使用しない  
入浴剤・ふろがま洗剤・洗剤などを使用するときは、注意書きをよく読み、正しく使用する

入浴剤・ふろがま洗剤の種類によっては、機器の熱交換器を腐食させる原因になるものがあります。これらを使用して追いだきしたときに、異常音が出たり、追いだきできなくなる場合は、使用をやめてください。

ふろがま洗剤の使用に際しては、注意書きをよく読み、すぎを充分におこなってください。

塩素系のカビ洗剤や酸性の浴室用洗剤、洗濯排水、消臭剤または塩などが機器本体や強化ガスホースなどにかかった場合は、すぐに水洗いする

機器や強化ガスホースの変質や変色の原因となります。

排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシなどに当たらないように設置する  
増改築時も同様に注意する

ガラスが割れたり、変色する原因になります。

業務用のような使いかたをしない

製品の寿命を短くします。  
業務用のような使いかたをした場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

浴槽はこまめに掃除する

湯あかが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

温泉水、井戸水、地下水で使わない

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。  
この場合は保証期間内でも有料修理になります。

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない

雑用水として使用してください。

長期間使用しない場合、必要な処置をする  
(P17)

凍結および万が一のガス漏れを防止するため。

機器に故意に水をかけない

水が内部に入り故障の原因になります。

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

使用時の点火、使用後の消火を確認する  
使用中も正常に燃焼しているか確認する  
ガス事故防止のため。

機器の上にヘアピン、カミソリなどの金属性のものを置くとさびがつくので注意する

(つづく)

## 必ずお守りください(安全上の注意)-4

(つづき)

シャワーホースは折り曲げて使用すると、**熱湯が出る場合があるので、折れ曲がる時は早めに交換する**

やけど予防のため。

シャワーヘッドは、浴槽や洗面器の水の中に入れてはいけない

逆流予防のため。

つまみの部分になるべく湯(水)がかからないようにする

水が内部に入り、故障の原因になります。

浴室に洗濯機などの排水をする場合は、排水が直接機器にかからないように注意する

機器がさび、思わぬ事故の原因になります。

凍結による破損を予防する(☞P17)

あたたかい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な処置をしてください。

凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

## 各部のなまえとはたらき

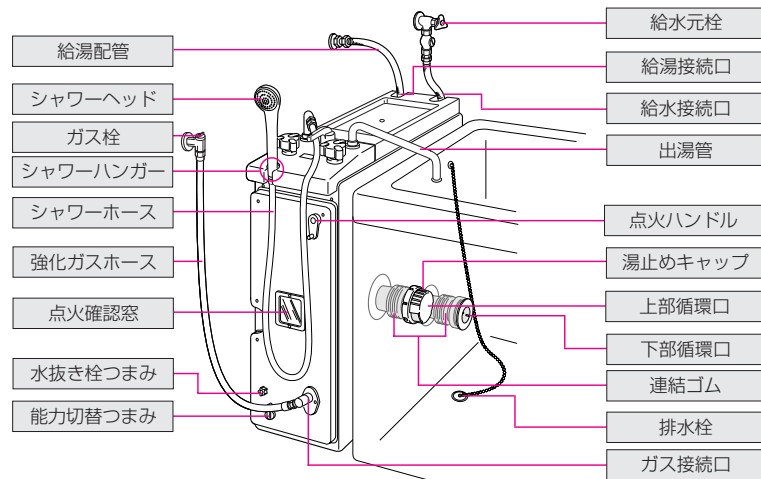
### 機器本体

531-N900型, 531-N906型, 531-N910型

【浴室内設置形】

※531-N901型, 531-N907型, 531-N911型については、能力切替つまみ・給水接続口・循環口・シャワーと出湯管の位置は左右逆になります。

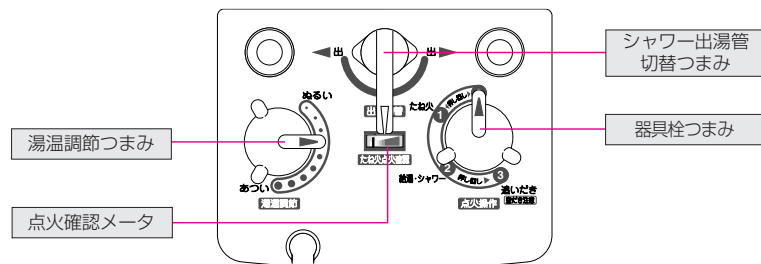
※531-N906型, 531-N907型のみ給水接続口・給湯接続口の位置が異なります。



※上のイラストは施工例です。

配管の位置・形状、給水元栓・ガス栓の位置など実際と異なります。

### 操作部



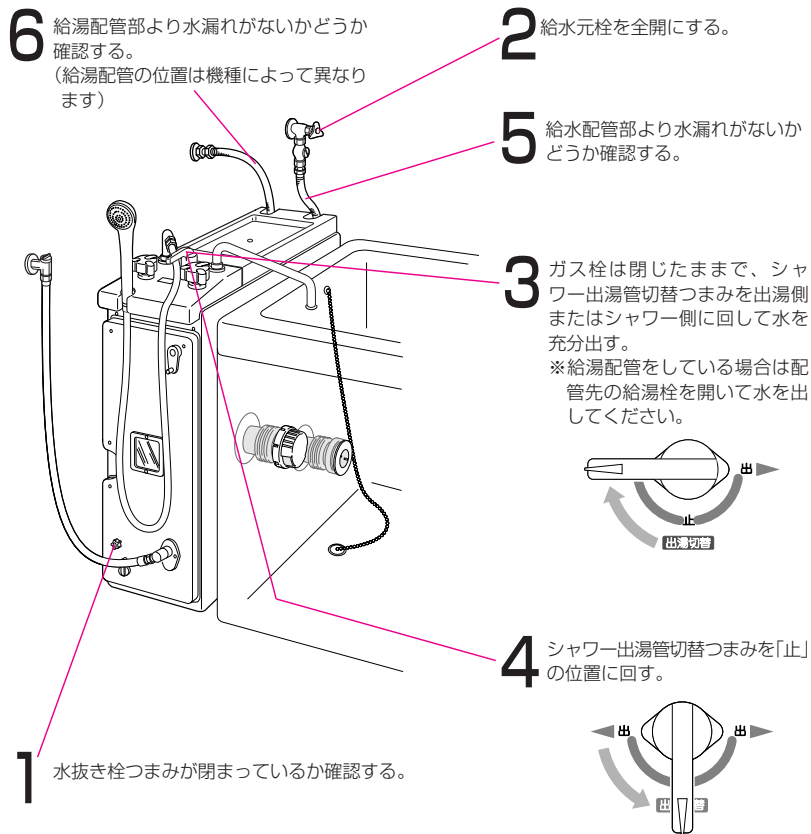


# 初めてお使いになるときは

初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1～6の手順でおこなってください。

※531-N900型で説明していますが、他の機種でも手順は同じです。



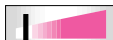
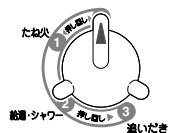
※上のイラストは施工例です。  
配管の位置・形状、給水元栓・ガス栓の位置など実際と異なります。

# 使いかた たね火を点火する

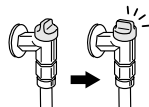
お湯を出す場合・追いだきをする場合は、まずたね火を点火してください。

## 点火前の準備

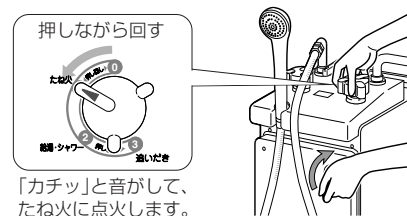
1. 器具栓つまみは「0」、点火確認メータは左の位置にあるか確認する。



2. ガス栓を開ける。



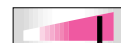
## 1 器具栓つまみを「1」に押し回しながら点火ハンドルを右に回す



「カチッ」と音がして、たね火に点火します。

器具栓つまみと「1」(たね火)の表示の位置は、多少ずれることがあります。問題ありません。

## 2 点火確認メータの針が右の赤い部分の位置に来るまで器具栓つまみを押し続ける



点火完了位置

## 3 器具栓つまみを離しても点火確認メータの針が元に戻らないことを確認する

点火確認メータの針が戻る場合は点火していないので、もう一度1からやり直してください。

●はじめて使用される場合や長時間使用しなかった後は、ガス配管等に空気がたまっていますので、1回で点火しない場合があります。この時はたね火が点火するまで上記の操作を繰り返してください。

## ⚠ 注意 異常着火の予防のために

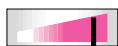
- 器具栓つまみは「1」(たね火)の位置で15秒以上押さないでください。15秒以内でたね火に点火しないときは、機器内にガスが残っている場合があるので、器具栓つまみを「0」の位置に戻して5分以上待ってから再点火してください。
- 途中で消火したときは、機器内にガスが残っている場合があるので、5分以上待ってから再点火してください。

# 使いかた お湯を出す/お湯の温度を調節する

出湯管からお湯を出すとき(お風呂にお湯をためる、またはあがり湯を使う)やシャワーを使うときは、シャワー出湯管切替つまみで切り替えます。

## 操作前の準備

点火確認メータが右の赤い部分の位置にあることを確認する。(P11)



## 1 器具栓つまみを「2」に回す

器具栓つまみを「2」(給湯・シャワー)に合わせる。



器具栓つまみと「2」(給湯・シャワー)の表示の位置は、多少ずれることがあります、問題ありません。

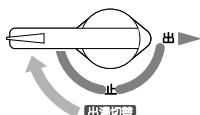
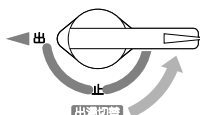
## 2 シャワー出湯管切替つまみを左右どちらかに回してお湯を出す

お風呂に湯をためる  
または  
あがり湯を使う

シャワーを使う

シャワー出湯管切替つまみを  
出湯管側へ止まるまで回す。

シャワー出湯管切替つまみを  
シャワー側へ止まるまで回す。



本火に着火して、出湯管またはシャワーよりお湯が出ます。

※ 531-N901型, 531-N907型, 531-N911型はシャワーと出湯管の位置が左右逆になります。

## 3 湯温調節つまみでお湯の温度を調節する



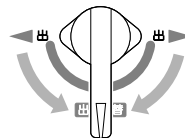
「ぬるい」 …… お湯の量が増えぬるくなる  
「あつい」 …… お湯の量が減りあつく

湯温調節つまみの位置を確認してからお湯を出してください。  
やけど予防のため。

湯温調節つまみで調節しても、お湯の温度が熱すぎる(ぬるすぎる)ときは、能力切替つまみで能力を切り替えてください。

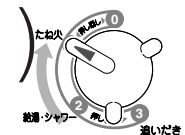
## 4 お湯を止めるときは、シャワー出湯管切替つまみを「止」の位置に回す

お湯が止まります。



この位置では本火が消えて、たね火のみ点火しています。

お湯を使用しないときは  
器具栓つまみを「1」に戻す



入浴後はたね火を消火してください。(P15)

## 警告

やけど予防のために



高温注意

- シャワーなどお湯を使用するときは、いきなり体や顔にかけず、手でお湯の温度を確認してから使用してください。
- シャワーなどお湯を使ったあと、あらためて使用するときには、一瞬熱いお湯が出る場合がありますので注意してください。
- 長時間の追いだし後および長時間たね火を点火した後にお湯を使うと、熱湯が出る場合がありますので注意してください。
- シャワー出湯管切替つまみは、「◀ 出」または「出 ▶」の位置に合わせてください。途中の位置で使用すると熱いお湯が出る場合があります。

< 給湯配管してある場合 >

- 浴室でシャワーやあがり湯を使用しているときは、台所や洗面所などの給湯配管先でお湯を使用しないでください。
- 使用中や使用直後は、機器本体の金属部や出湯管などが熱くなるので、さわらないでください。

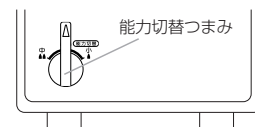


## 能力切替つまみの使用方法

- 能力を切り替える場合は、いったんお湯を止めてください。  
※ お湯の使用中に能力を切り替えると、熱いお湯が出る場合があります。

- ・ 熱すぎる …… 能力切替つまみを「大」から「中」に切り替えて、湯温調節つまみで調節する。それでもまだ熱すぎるときは、「中」から「小」に切り替えて、湯温調節つまみで調節する。

- ・ ぬるすぎる …… 熱すぎるときと逆に「小」から「中」、「中」から「大」へと切り替えて、湯温調節つまみで調節する。



能力切替つまみの位置は、浴槽が右にある場合は左の位置に(上図)、浴槽が左にある場合は右の位置になります。

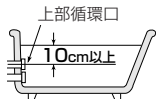
- ※ 能力切替つまみは「小」、「中」、「大」の位置に確実に合わせてください。  
途中の位置で使用すると不完全燃焼の原因となります。

# お風呂の追いだきをする

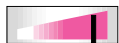
お風呂にお湯をためたあと温度がぬるい場合は、追いだきをしてください。  
(お風呂を水から沸かす場合は、お湯をためるより時間が長くなります)

## 操作前の準備

1. 浴槽の排水栓をしっかり差し込んであるか確認する。
2. 浴槽の上部循環口より約10cm以上お湯(または水)が入っているか確認する。



3. 点火確認メータが右の赤い部分の位置にあることを確認する。(P11)



## 1 器具栓つまみを「3」に押し回す

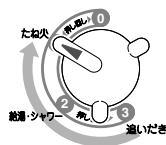
器具栓つまみを「3」(追いだき)の位置に合わせる。



本火に着火して追いだきします。

器具栓つまみと「3」(追いだき)の表示の位置は、多少ずれることがありますが、問題ありません。

## 2 お風呂が適温になれば、器具栓つまみを「1」に戻す



追いだきのあとでお湯を使いたいとき

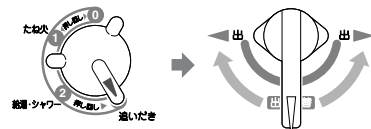
「2」(給湯・シャワー)の位置に合わせる。



長時間の追いだき後にお湯を使うと、熱湯が出る場合がありますので注意してください。

## お風呂の追いだきをしながら同時にお湯を使いたいとき

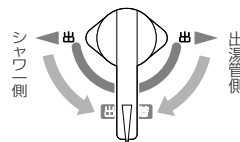
- ①器具栓つまみを「3」(追いだき)の位置にする。
- ②シャワー出湯管切替つまみをシャワー側か出湯管側に合わせる。(お湯の温度調節P13)



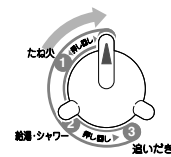
# ご使用後は(たね火の消火)

入浴が終わったら、必ずたね火を消火してください。

1. シャワー出湯管切替つまみを「止」の位置に戻す  
給湯配管先の給湯栓を閉める



- 2 器具栓つまみを「0」に戻す



点火確認メータが左の位置に戻ったことを確認してください。



消火完了位置

## 警告

やけど予防のために

- 追いだき時には循環口からあついお湯が出ますので、手や体を近づけないでください。
- 使用中や使用直後は、機器本体の金属部が熱くなるので、さわらないでください。

## 注意

- 浴槽のお湯(または水)が少ないと、空だき状態となり、火災の原因になりますので特に注意してください。
- 追いだきした後は、お湯の上の方が熱くなっていますので、よくかきまぜて、必ず手で湯の温度を確認してから入浴してください。

給湯配管先の給湯栓



●入浴後やおやすみになる前、お出かけになるときは、ガス栓、給水元栓を必ず閉めてください。



# 台所などでお湯を使う (給湯配管してある場合)

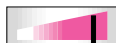
給湯配管(別途工事)してある場合は、台所や洗面所でもお湯が使えます。

給湯配管先で初めてお湯をお使いになるときは・・・

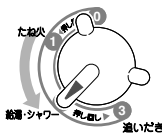
1. 給湯配管先の給湯栓を開け、しばらくして給湯栓から水が流れ出ることを確認する。
2. 給湯栓を閉め、以下の操作で使用してください。

## 操作前の準備

点火確認メータが右の赤い部分の位置にあることを確認する。(P11)



### 1 器具栓つまみを「2」に回す



器具栓つまみと「2」(給湯・シャワー)の表示の位置は多少ずれることがありますが、問題ありません。

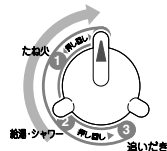
### 2 給湯配管先の給湯栓を開く



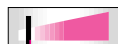
自動的に本火に着火して、お湯が使えます。

- ※ 他栓の給湯栓は全開にして使用してください。
- ※ お湯の温度調節は、湯温調節つまみまたは、能力切替つまみでおこなってください。(P13)

### 3 使用後は、器具栓つまみを「0」に戻す



点火確認メータが左の位置に戻ったことを確認してください。



消火完了位置

おやすみになる前やお出かけになるときは、ガス栓、給水元栓を必ず閉めてください。

## 注意

やけど予防のために



高温注意

- 浴室でシャワーやあがり湯を使用しているときは、台所や洗面所などの給湯配管先でお湯を使用しないでください。
- 出湯管の先にホースなどを接続してお湯を使用しないでください。また、給湯配管して給湯栓をつけないでください。お湯が絞られて熱湯が出たり、給湯栓を閉めても燃焼し続けるなど、やけどの原因になります。

# 凍結による破損を予防する

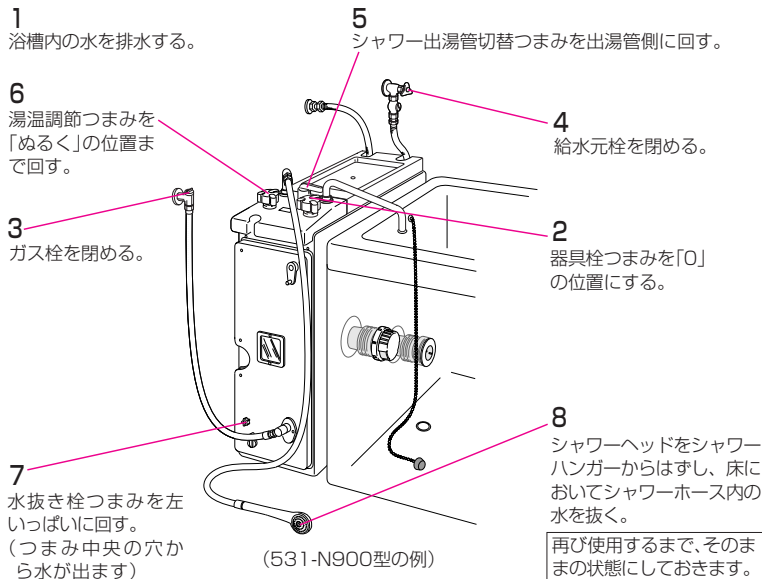
暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結し、破損することがありますので、以下の要領で水抜きによる凍結予防をしてください。また、長期間使用しない場合も、水抜きをおこなってください。

## 注意



高温注意

お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。やけど予防のため。



再び使用するまで、そのままの状態しておきます。

## 再使用のとき

1. シャワー出湯管切替つまみを「止」の位置に合わせ、シャワーヘッドをシャワーハンガーに掛ける。
2. P10の「初めてお使いになるときは」の手順1～6にしたがってください。

## 凍結して水が出ないとき

- 自然に解凍するのを待ち、凍結したままでは絶対に使用しないでください。機器の故障の原因となります。
- 水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ、ご使用ください。凍結により本体が破損したときの修理は、保証期間内でも有料修理になります。

# 日常の点検・お手入れのしかた

## 注意



高温注意

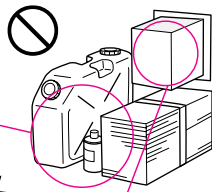
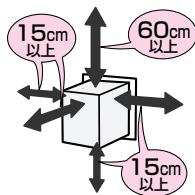
点検・お手入れは、ガス栓を閉めておこなってください。  
お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、  
機器が冷えてからおこなってください。  
やけど、その他の事故の予防のため。

## 点検(定期的)

チェック!

給排気トップのまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていませんか。

<燃えやすい物と離す最低限必要な距離>



チェック!

給排気トップがほこりなどでふさがっていませんか。

チェック!

機器・配管から水漏れはありませんか?

チェック!

機器の上に、ヘアピン、カミソリなどを置いていませんか?

チェック!

機器の外観に異常な変色やキズはありませんか?

チェック!

点火確認窓が汚れでくもっていませんか?

チェック!

強化ガスホースがゆるんだり傷んだりしていませんか?

チェック!

機器から異常音が聞こえませんか?

(531-N900型の例)

## お手入れ(こまめに掃除)

### 浴室

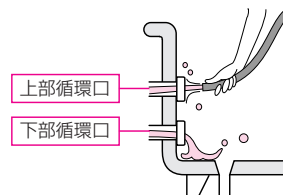
- 浴室は湿気が多いので、使用後必ず窓などを開け換気をよくしてください。
- 浴室の排水口をよく掃除して、排水が充分おこなえるようにし、機器の底部が水につからないようにしてください。

### 機器外装

- 使用後、乾いた布で機器外装についた水分をふきとってください。
- 点火確認窓は炎がよく見えるようにときどきふいてください。
- 万一さびが浮き出た場合は、乾いた布でふきとってください。そのまま放置するとさびが進行していきますのでご注意ください。

### 機器内部

こまめに手入れをおこなってください。



1. 上部循環口の湯止めキャップを外す。
2. 循環口へ水道からホースを近づけ、先をつまんで勢よく水を出す。
3. 上部循環口、下部循環口と交互に水洗いして機器内部をきれいにする。
4. 上部循環口に湯止めキャップを元どりにつける。

# 故障・異常かな？と思ったら

## 次のことをお調べください


たね火が点火しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？</li> <li>・ガスメータ(マイコンメータ)がガスをしゃ断していませんか？</li> <li>・LPガスの場合、ガスがなくなっていないですか？</li> <li>・点火確認メータの針が右の赤い部分の位置にくるまで、器具栓つまみを押し続けていますか？</li> </ul>
高温のお湯が出ない 低温のお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？</li> <li>・お湯の温度調節は適切ですか？(P12,13)</li> </ul>

(つづき)

以下の場合、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください

- ・前記以外の現象
- ・前記の処置をしてもなお異常のあるとき
- ・その他、わからないとき

## 次のような場合は故障ではありません

お湯が白く濁って見える	水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい泡となって出てくる現象で無害なものです。
寒い日に給排気トップから白い煙が出る	冬に吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気が白く見えます。
連結ゴムに水滴がついている	おもに夏場、室温と水温の差によって水滴がつく現象で、水漏れではありません。
燃焼中、浴槽内をかくはんすると、上部循環口から気泡が出て「ポコン、ポコン」と音がする	機器内にたまっている空気が出ています。
機器から使用中および使用後に「ポコン」のような音がする	機器のケースが熱で膨張・収縮するためにおこるもので、故障ではありません。
シャワーのお湯が止まる	長時間追いださした直後は、シャワーから熱いお湯が出るのを防ぐため、自動的にお湯が止まることがあります。次のAまたはBの方法で再使用できます。
<p>A (1)シャワー出湯管切替つまみを「止」の位置にする。(右図)</p> <p>(2)器具栓つまみを「0」に戻し、約10分間以上待つ。</p> <p>B (1)シャワー出湯管切替つまみを「止」の位置にする。(右図)</p> <p>(2)シャワー出湯管切替つまみを出湯管側「出」にして出湯管からお湯を出す。(※このとき熱いお湯が出るためお湯が体にあたらないよう充分に注意してください)</p> <p>(3)適温になったことを確認してから、シャワーに切り替える。</p>	 <p>「止」の位置</p>
給湯配管先の給湯栓を開いても、すぐお湯が出ない	機器から給湯配管先の給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。

(つづく)

# アフターサービスについて

## サービスを依頼される時

20～21ページの「故障・異常かな?と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

連絡していただきたい内容

型番 …………… 531-N900・N901・N906・N907・N910・N911型  
(本体の銘板をご覧ください)  
(銘板の例)



異常の状況 …… (故障表示など、できるだけ詳しく)  
ご住所・ご氏名・電話番号  
訪問ご希望日



## 保証について

取扱説明書の最終ページに保証書がついています。  
保証書に記載されている保証期間・保証内容をよくご確認のうえ、大切に保管してください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

## 補修性能部品の保有期間について

この製品の補修性能部品の保有期間は、製造中止後10年です。  
但し、保有期間経過後であっても補修性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。  
なお、補修性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

## 移設される場合

転居などで機器を移設される時は、機器(銘板)に表示してあるガスの種類が移設先と合っているか必ずご確認ください。  
不明のときは、移設先のガス事業者、販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設される時は、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。  
※ガスの種類によっては改造・調整できない場合があります。

# 主な仕様

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。  
但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

## 仕様表

型番	531-N900・N901型	531-N910・N911型	531-N906・N907型
型式名	GBSQ-806-e	GBSQ-606-e	GBSQ-605-e
外形寸法<mm>	高さ693×幅250×奥行605	高さ693×幅230×奥行605	
質量	本体<kg>	18	17
	給排気トップ<kg>	4(200型の場合)	
接続口径	給湯	R1/2	
	給水	R1/2	
	ガス	TU接続 R1/2	
水圧	使用水圧<kPa>	68.7 (0.7kgf/cm <sup>2</sup> ) 以上	
	作動水圧<kPa>	湯温調節つまみ 全開時 49.1 (0.5kgf/cm <sup>2</sup> ) 全閉時 34.3 (0.35kgf/cm <sup>2</sup> )	
最低作動流量<L/分>	湯温調節つまみ 全開時 6.6 全閉時 2.3	湯温調節つまみ 全開時 6.6 全閉時 1.8	
	点火方式	圧電点火方式	
循環パイプ取付口径	φ45mm		
制御装置	水圧自動ガス弁(ダイヤフラム部)、ガス圧自動調整器、水圧自動調整器、能力切替装置(能力切替つまみ)		
安全装置	立消え安全装置、空だき安全装置、過熱防止装置、凍結予防装置(水抜き栓)、過圧防止安全装置(残火安全装置)、高温閉止栓		

## 能力表

※型番は仕様表を参照してください。

使用ガス	型 式 名	GBSQ-806-e			出湯能力(最大時)(L/分)				
		1時間当りのガス消費量 (最大消費量) <kW>			水溫+15℃上昇				
		ふるいだし	給湯能力大	同時使用	中	小	大	中	大
都市ガス用	13A	8.40	18.6	26.5	7.3	3.8	8.5	4.4	5.3
LPガス用		8.40	17.5	25.6	6.7	3.4	8.0	4.0	5.0

使用ガス	型 式 名	GBSQ-606-e、GBSQ-605-e			出湯能力(最大時)(L/分)				
		1時間当りのガス消費量 (最大消費量) <kW>			水溫+15℃上昇				
		ふるいだし	給湯能力大	同時使用	中	小	大	中	大
都市ガス用	13A	9.90	14.5	24.0	7.5	3.8	6.5	4.5	4.1

## ＝ お客さまへ ＝

**本製品は、消費生活用製品安全法(消安法)の長期使用製品安全点検制度※で指定される特定保守製品です。**

※消安法 長期使用製品安全点検制度の法施行は2009年4月1日です。  
このチラシは、取扱説明書とともに大切に保管願います。

### 特定保守製品とは…

「消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化(経年劣化)により安全上支障が生じ、一般消費者の生命又は身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等からみてその適切な保守を促進することが適当なもの(消安法第2条第4項)」として指定された製品です。

### 法定の点検期間になったら点検を受けてください

- ・ 特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、設計標準使用期間に基づいて製品ごとに設定された点検期間中に点検を受けることが、製品の所有者の責務として求められています(消安法第32条の14)。本製品に表示している点検期間になりましたら、必ず点検を受けてください。(点検は有料です)
- ・ なお、法定の点検後もご使用を継続する場合には、こまめに点検を受けることが本製品を安全にお使いいただくために必要となりますので、ご注意ください。
- ・ 法定点検は、その時点で点検基準に適合しているかどうかの確認であって、その後の安全を担保するものではありません。

### 法定の所有者登録をしてください

- ・ 特定保守製品の所有者は、この製品の製造(輸入)事業者が法定の所有者登録をすることが求められています(消安法第32条の8第1項)。  
製品に同梱している「所有者票」に記載している《所有者情報の登録方法》に従って、ご登録をお願いします。
- ・ ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法および当社規定により適切な安全対策のもとに管理し、法定点検やリコール等の製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

消安法の施行(2009年4月1日)前に製造した製品の所有者票は任意のご提供になります。ご提供いただいた場合は、2009年4月1日以降に製造した製品と同等に所有者情報を管理し、法定点検に準ずる点検やリコール等の製品安全に関するお知らせをいたします。所有者票のご提供(所有者登録)をしていただくことをおすすめします。

点検制度チラシA03一般





## 登録していただいた所有者情報に変更がありましたらご連絡ください

- ・所有者情報に変更があった場合、この製品の製造(輸入)事業者に変更の連絡をすることが求められています(消安法第32条の8第2項)。  
引越しなどで所有者情報に変更がありましたら、速やかに「所有者票」に記載している《所有者情報の登録方法》に掲げる点検連絡先にご連絡ください。  
ご連絡いただかない場合、法定点検やリコール等の製品安全に関するお知らせが正しく届かないことがあります。

## 法定の点検通知をいたします

- ・法定の所有者登録をしていただいた方に、登録情報に基づいて点検期間の開始前に法定の点検通知をいたします(消安法第32条の12)。
- ・点検期間については、製品本体の表示、もしくは製品に同梱している「所有者票(お客さま控え)」をご覧ください。

## 【本製品の設計標準使用期間について】

本製品は、設計標準使用期間\*を10年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

※設計標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品ごとに設定されるものです(消安法第32条の3)。「保証期間」とは異なるのでご注意ください。(保証期間は保証書を参照願います)

### <設計標準使用期間の算定の根拠>

本製品の設計標準使用期間は、次のように設定しています。

- 1) 始期・・・製造年月
- 2) 終期・・・JIS S 2071 および 日本ガス石油機器工業会規格JGKAS C 301の「標準使用条件」に基づいて想定した以下の使用条件にて、当社において耐久試験等を行い、その結果算出された数値等に基づいて、「経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないこと」を確認した時期

#### ■使用条件(給湯)

項目	条件
1. 家族構成	4人世帯
2. 季節	中間期(春・秋)
3. 気温・湿度	20℃・65%
4. 電源電圧・周波数	AC100V・50/60Hz
5. 給水温度	15℃
6. 出湯温度	40℃
7. 1日使用量	456リットル
8. 1日使用時間	1時間
9. 1年使用日数	365日

#### ■使用条件(ふろ)

項目	条件
1. 家族構成	4人世帯
2. 季節	中間期(春・秋)
3. 気温・湿度	20℃・65%
4. 電源電圧・周波数	AC100V・50/60Hz
5. 給水温度	15℃
6. 沸き上がり温度	40℃
7. 入浴回数	毎日
8. 沸き上がり回数	1回/1日
9. 追いだき回数	2回/1日
10. 浴槽水量	180リットル

<ご注意ください>

使用頻度、使用環境、設置場所が標準的な使用条件と異なる場合、または、業務用等、本来の目的以外の方法で使用された場合は、本体に記載の設計標準使用期間よりも短い期間で経年劣化が起きる可能性があります。これに該当するような場合は、P4「本製品の点検等に関するお問い合わせ先」にご連絡ください。

## 点検について

法定点検は、大阪ガスまたは大阪ガスが委託した事業者が行います。

### 【点検の内容について】

- ・ 特定保守製品について、点検期間中に点検基準に従って実施する有料の法定点検です。
- ・ 点検基準は消安法省令に定められており、製品区分ごとに点検項目、点検内容が定められています。
- ・ 点検の結果は、点検結果表にてお知らせします。
- ・ 点検の結果、不適合となった場合には可能な限りの選択肢をお知らせします。この場合、整備(修理を含む)を行って使用を継続するかどうかはお客さまの判断となります。

### 【点検の料金について】

点検費用は、お客さまにご負担いただきます。また、点検の結果、整備が必要となった場合は、別途整備費用(有料)が発生いたします。

点検料金は技術料、出張料などを合計した金額となります。

なお、点検料金の設定の基準等や、点検要請に対して速やかに対応できるよう配置しておりますサポート拠点については、下記のアドレスからご覧いただけます。

<http://www.osakagas.co.jp/>

インターネットでご確認できない場合は、P4「本製品の点検等に関するお問い合わせ先」にご連絡ください。

### 【本製品の点検の結果必要となると見込まれる整備用部品の保有期間】

整備用部品とは、法定点検の結果、不備が認められた場合に、安全性を確保(回復)させるために必要な部品であり、補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)とは異なります。

- (1) 点火・消火に関する部品：製造打切後11年  
点火プラグ・イグナイター・フレイムロッド
- (2) 水・湯・ガス通路に関する部品：製造打切後11年  
サーミスター・パッキン・Oリング
- (3) 安全装置に関する部品：製造打切後11年  
COセンサー・ハイリミットスイッチ・温度ヒューズ  
風圧スイッチ・熱湯遮断弁

※補修用性能部品の保有期間は取扱説明書をご覧ください。

## 本製品の点検等に関するお問い合わせ先

大阪ガスお客さまセンター

Telフリーダイヤル 0120-0-94817

【受付時間】 (月～土) : 9:00～19:00  
(日・祝) : 9:00～17:00

### 【本製品の日常的に行うべき点検・お手入れ】

製品を安全にご使用いただくために、月1回程度は、お客さまで日常的に点検やお手入れを行ってください。

#### <点検・お手入れ前のご注意>

- ・ 運転スイッチ「切」にするか、電源プラグを抜いて行ってください。
- ・ 製品の使用後は、製品や製品内のお湯が高温になっていますので、やけど予防のため製品が冷えてから点検・お手入れを行ってください。

#### <点検・お手入れの内容>

- ・ 取扱説明書の、日常の点検・お手入れに関する項目および安全上の注意に関する項目をご覧ください。
- ・ 次のような症状があれば経年劣化の兆候と考えられますので、上記お問い合わせ先にご連絡ください。
  - 運転中に機器から異常音が聞こえる
  - 機器外観に異常な変色や傷がある
  - 機器・配管から水漏れがある
  - 排気口・(給)排気トップ部にススがついている